

夏の本 ～3, 4年生へ～

八千代市立図書館

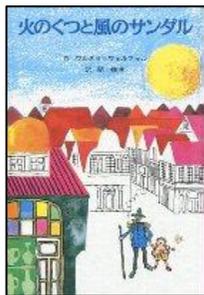
盆まねき 富安陽子／作 高橋和枝／絵 偕成社 [913 ト]

毎年お盆になると、なっちゃんは家族みんなで笛吹山に住むおじいちゃんの家へ遊びに行きます。お盆の間は、たくさんの親せきの人たちと一緒に過ごすのです。おじいちゃんたちは、おもしろいホラ話や子どもの時の思い出話をして、いつもなっちゃんたちを楽しませてくれます。なっちゃんが到着すると、おじいちゃんは早速ナメクジのお話を始めました。それは、おじいちゃんとおじいちゃんのお兄さんのお話でした。



火のくつと風のサンダル ウルズラ・ウェルフェル／作 関楠生／訳 久米宏一／絵 童話館出版 [943 ウ]

ちびででぶのチムは、学校でいつもそのことをからかわれます。チムは、そんな自分がイヤでイヤでしょうがありませんでした。そんな時、7歳の誕生日をむかえたチムは、お父さんとお母さんから新しいくつとリュックサックをプレゼントしてもらいます。そして、夏休みになったら、お父さんと旅に出る約束をしました。



べんり屋、寺岡の夏。 中山聖子／作 文研出版 [913 ナ]

美舟の家は、町のべんり屋さんです。毎日、町の人たちから色々な依頼が舞い込んできます。引っ越しや庭仕事の手伝い、犬の散歩を代わりにすることもあります。夏休みになると、美舟もべんり屋の手伝いをするようになります。すると、友だちの亜衣ちゃんから、むずかしい仕事を依頼されてしまいます。



転校生は忍びのつかい

加部鈴子／作 平沢朋子／絵 岩崎書店 [913 カ]

小学4年生の浩太のクラスに、宗助という名前の転校生がやってきました。とても静かな男の子で、浩太は話す機会がほとんどありません。夏休みのある日、浩太がたまたま宗助の家の前を通りかかると、なんと宗助が忍者の修行をしています。興味を持った浩太は、宗助と一緒に忍者の修行を始めることにしました。



小さい水の精

オトフリート・プロイスラー／作 ウィニー・ガイラー／絵

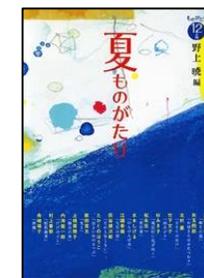
はたさわゆうこ／訳 徳間書店 [943 ブ]

水車の池の底深くに、水の精の親子が住んでいました。生まれたばかりの小さい水の精の男の子は、知りたがりやでじっとしてられません。友だちのコイのおじいさんが止めるのも聞かず、水の流れが速い水門に近づきすぎて流されてしまいました。



夏ものがたり 野上暁／編 高島那生／画 偕成社 [913 ナ]

女の子の家に、町内会のお知らせが届きました。女の子の家のすぐ横にある、古い電信柱を建て替えるのです。するとお母さんが、その電信柱にまつわるお話をしてくれました。「電信柱に花が咲く」梅雨から夏にかけての詩とお話がつまった、夏休みにぴったりの短編集です。お気に入りの作品が見つかりますよ。※シリーズがあります。



～他にも、夏の本～

・ズボン船長さんの話 角野栄子／作 鴨沢祐仁／画 福音館書店 [913 カ]

・パンプキン！～模擬原爆の夏～

令文ヒロ子／作 宮尾和孝／絵 講談社 [913 レ]